

香川大学教育学部附属坂出中学校で

支援活動② を実施しました

7月11日、教育創造コースの2年生が、香川大学教育学部附属坂出中学校において、総合学習CAN(Cluster, Action Learning, Narrative Approach)のなかで「支援活動」を行いました。

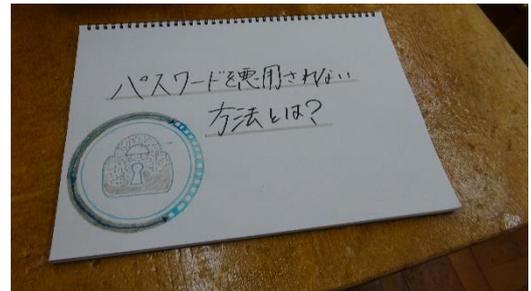
中学生の各「クラスター」の活動内容は6月の訪問時よりもかなり深化しており、実験やインタビューをするために教室外で活動しているクラスターも多くありました。教育創造コース生は各クラスターの探究の内容を聞き取り、疑問に思ったことを質問したり、アドバイスをしたりしました。

【問いかけの例】

「この探究はどうなったらいいの？」…理想のゴールを明確にする。

「(困っていたら;素朴な疑問から)なぜ、これをしたいの？」…研究の繋がりを意識させる。

「どうなっていたら〇〇だと言えるの？」…定義をはっきりさせる。



多種多様で、大変複雑な探究活動が為されているため、コース生にとっては、良いアドバイスをするのは、なかなか難しかったようです。しかし、大変面白く貴重な経験でした。附属坂出中学校の皆さん、本当にありがとうございました！